



毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

議会だより

発行/毛呂山町議会
編集/毛呂山町議会だより編集委員会

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



平成26年8月1日発行

第 85 号

6月の定例会

6月定例会	2P
5月臨時議会・審議結果	3P
委員会合同視察	4~5P
一般質問 11名	6~11P
議会の動きなど	12P

議会だよりは議員の自主編集により発行し、この用紙は再生紙を使用しております。

花蓮を育てるボランティアの皆さん

川角中学校大規模改造工事(第2期)開始 工事期間は平成27年2月27日まで

6月議会 定例会

請負契約の締結

○川角中学校大規模改造工事(第2期)請負契約の締結について

- ◆主な請負概要
- ・北校舎棟及び北校舎西側増築棟の内部の木質化
 - ・外壁塗装
 - ・昇降口の改装
 - ・電機及び機械設備等の改修

◆請負金額
3億3174万3600円

◆請負業者
さいたま市大宮区浅間町
佐田建設株式会社
さいたま支店

賛成討論

長瀬衛 議員

今回の入札は県の最低制限価格制度に準じて行われたもので入札結果は尊重するが、3億円という大規模の入札にも関わらず、落札者より僅か7万円低い価格の業者が失格になっている。予定価格と設計価格の関係や最低制限価格の設定などに改善の余地が多々ある。

先の川角学童保育所改修工事や今年度の町立中学校エアカン設置工事の入札結果においても過去の反省が生かされていない。業者を育てることも大事だが、最も大切なのは貴重な財源の扱いである。入札制度は大きく変化しており、今後の入札適正化のためにも低入札価格調査制度等を含めた抜本的な見直しが必要

平成26年6月定例議会は、6月2日から6日までの5日間の会期で開催されました。今議会に提案された案件は、契約の締結1件、条例の一部改正1件、報告3件、合計5件が上程され慎重な審議が行われました。一般質問には11名の議員が登壇し活発な質問が展開されました。

要であり、全庁的な検討会を設け、毛呂山町の入札のあり方を定めるべきである。

以上、今後の入札制度の改善に期待し、賛成する。

(全員賛成可決)



第1期木質化改造前の南棟



第1期木質化改造後の南棟

条例の改正

○議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の一部改正に伴い、条例の改正を行います。

(全員賛成可決)

報告

第一号

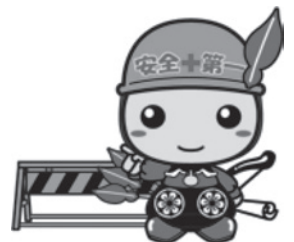
○繰越明許費繰越計算書

第二号

○事故繰越し繰越計算書

第三号

○水道事業会計予算繰越計算書



2月の大雪による農作物被害支援策！

全員賛成可決

5月議会 臨時会

補正予算

平成26年5月臨時議会は、5月7日(水)の、1日間の会期で開催されました。今議会に提案された案件は、補正予算1件、専決処分の承認3件、合計4件が上程され慎重な審議が行われました。

○平成26年度毛呂山町一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ1億4516万5千円を追加し、総額93億3116万5千円としました。

主な内容

◆ 農業災害緊急支援事業費補助金 1億4416万5千円

・被災施設の撤去
☆負担割合 国 50% 県 25% 町 25%

・ハウス再建
☆負担割合 国 50% 県 20% 町 20%

自己負担 10%

◆ 農作物災害緊急対策事業補助金 100万円

・次期作の作付
☆負担割合 国 50% 町 50%

◆ 林道倒木処理委託料 141万円

専決処分

○毛呂山町税条例の一部を改正する条例 (全員賛成承認)

○毛呂山町都市計画税条例の一部を改正する条例 (全員賛成承認)

○毛呂山町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 (全員賛成承認)

議案の審議結果

○は賛成 ×は反対 退は退席 討は討論 欠は欠席 議は議長

議案	議員名	弓田茂樹	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田忠次郎	宮寺征二	藤岡健司	岡野勉	小峰明雄	高橋達夫	長瀬衛	岡部和雄	堀江快治	下田一甫	審議結果	
【5月臨時会】																	
23	専決処分の承認を求めることについて(毛呂山町税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
24	専決処分の承認を求めることについて(毛呂山町都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
25	専決処分の承認を求めることについて(毛呂山町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
26	平成26年度毛呂山町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
【6月定例会】																	
27	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
28	川角中学校大規模改造工事(第2期)請負契約の締結について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	討	○	○	○	議	可決

総務文教常任委員会・生活福祉常任委員会

合同視察研修

5月14日(水)～16日(金)の間、総務文教常任委員会・生活福祉常任委員会が合同視察を実施いたしました。視察先は毛呂山町と友情都市を結んでいる宮崎県木城町並びに防災行政無線をいち早く手掛けている鹿児島県指宿市。どちらも本町の町政発展に役立つ事例を視察する事ができました。

宮崎県木城町

木城町役場を訪問し、町の概要説明を受けた後、視察目的である「小丸川発電所、新しき村、マンゴー農家」を訪問しました。当日は雨でしたが新しき村全景の視察を行ったのち、村民である松田省吾氏より村の詳細な説明を受けることができました。町の財源を支えていると言っても過言ではない小丸川発電所を視察し、改めて企業誘致の重要性を再確認いたしました。



木城町（庁舎内）



小丸川発電所（地下作業所）



ハウス栽培のマンゴー



新しき村村民・松田省吾氏より村について説明を受ける

毛呂山町と木城町の 友情都市の締結について

平成20年2月11日、当町と宮崎県木城町は、友情都市の盟約を締結しました。明治から大正、昭和にかけて、小説「友情」や「真理先生」などを著し、自他共生の理想社会を目指した白樺派の文豪、武者小路実篤氏が提唱した「新しき村」が両町に開村されていることを縁として締結されたものです。その目的は、両町民相互の理解と親善を図ることとされ、産業まつりなどを通じ、交流を行っています。さらに、東日本大震災を契機とする近年の防災意識の高まりを受け、平成23年11月12日に、毛呂山町の産業まつりのステージ上において宮崎県木城町と「災害に強いまちづくり協定書」を締結しました。この協定では、災害が発生した場合に相互に、人的、物的支援を行うことを規定としました。

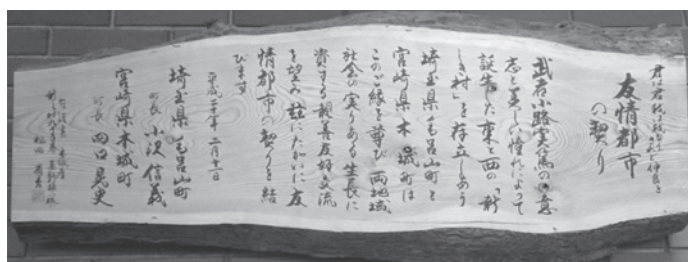
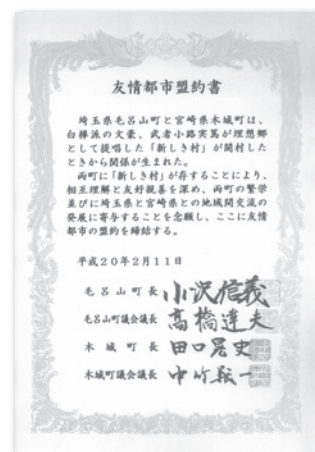
宮崎県木城町との友情都市の取り組みに関しては、今後も引き続き、両町民の相互交流を図ることや災害における相互支援の実施を基本とし、更に推進することとしています。



木城町 新しき村（全景）



庁舎1階ロビーに展示された友情都市締結盟約書



新しき村村民・松田省吾氏の直筆による「友情都市の契り」

鹿児島県指宿市

指宿市の既設同報系防災行政無線は、平成18年1月1日新市発足に合わせ統合され、平成24年度より実施設計を開始、現在工事三期に入っております。これから毛呂山町も防災行政無線デジタル化導入に向け調整されますが、導入することのメリット及びデメリット等、様々な課題を伺うことができ、今後の参考となりました。



指宿市（庁舎内）



指宿市（庁舎前）

いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

質問議員と質問事項

- 高橋 達夫議員** ①毛呂山町国民健康保険税
②水道料金の今後の見通し
- 堀江 快治議員** ①毛呂山町の将来像
②都市計画道路野久保線完成と沿道活性化
③井上町政きわめて不可思議
- 千葉三津子議員** ①通学路の安全対策
②ふるさと納税の取り組み
③高齢者の支援対策
- 村田忠次郎議員** ①高齢者スポーツの振興
②農業振興
- 長瀬 衛議員** ①企業誘致
- 小峰 明雄議員** ①教育・子育て環境の充実
②成人のつどい
③高齢者支援
④環境施策
- 弓田 茂樹議員** ①防災行政無線
②選挙投票の環境整備
- 藤岡 健司議員** ①防災無線
②自然災害
③旧上町保育園の跡地
④商工会の陳情
- 岡野 勉議員** ①少子化対策
②福島・東北の避難者に対する生活支援の現状と課題
- 荒木かおる議員** ①高齢者の振り込め詐欺防止・孤独死、孤立死の防止
②大災害時の初動期の1次医療の備え
③介護予防活動事業
- 佐藤 秀樹議員** ①毛呂山町の活性化に向けて

※内容については、各人の原稿をもとに、質問順で掲載いたしました。質問順は抽選により決定されます。

町国保税の全被保険者 平等の値下げの考えは

均等割見直しを時期を見て

前向きに検討する

高橋 達夫 議員

問 3月議会で毛呂山町国保税の大家族の軽減措置を求める請願が賛成多数で可決された。この請願について町では、どのように理解し、税徴収の公平性を鑑みどのように処置するのか。

答 町では平成21年度に賦課方式を4方式から所得割と均等割の2方式に変更し、国の指導で標準割合を50%対50%にした。それにより人数の多い世帯は税負担が増える状況だが、国保の受益者は、個々が被保険者であり被保険者の多い世帯はそれだけ受益も大きく、受益に見合う負担が合理的であるという趣旨

から税額を算定している。この2方式の採用にあたり、7割、5割、2割軽減を導入し低所得者への負担軽減や資産割を廃止する事により、2重課税と言う指摘も考慮した。国民健康保険に要する費用は国、県の公費が50%を、残りの50%を国保税等で賄うとされており、町の国保財政が比較的安定運営できているのは現在の町の国保税率にあると考えている。

問 この請願の趣旨「大家族だけの国保税を下げる」となること逆に年金生活の高齢世帯や小家族の国保税を値上げする事にならないか。

答 確かにどちらかを下げれば、どちらかを上げるか、歳出を減らすしかない。今回の大家族だけの軽減が可能かどうか検討している。

問 町では何人以上の世帯を大家族とする規定があるのか。それよりも町長、今ある基金を活用し、税徴収の公平性の立場から被保険者全体の均等割を下げる検討は出来ないのか。

答 均等割の見直しについては時期等を考慮し前向きに検討したい。

あなたの健康守ります

国保の一部改正

国保のある生活

ジェネリック医薬品を利用して！

ジェネリック医薬品とは？

毎朝に作られる薬（医薬品）は、原料の抽出・精製・加工・包装・検査が済んだ状態で、衛生管理の厳格な条件下で製造・販売された、新薬より安価な薬です。

ジェネリック医薬品を利用すれば、医療費の節約になり、みなさんの負担が軽くなります。また、利用することで、国全体の医療費の削減に貢献し、医療保険制度を守るためにも役立ちます。

注意

- すべての薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。
- 薬がなくても、自己負担額が削減される場合があります。
- お医者さんが使用を認めない場合は切り替えることができません。

保険証は一人に1枚

毛呂山町国民健康保険

国民健康保険は国民皆保険制度の大きな柱

町の将来像・少子高齢化 極めて深刻

町の最重要課題と認識

堀江 快治 議員

40年、3万1千人、35・8%と想定される。次期総合振興計画には、長期的展望に立った戦略的施策を展開する。

問 人口減少、負のスパイラル進行。町は、どのような認識をもって対処しようとしているのか。

答 高齢化と併せて、極めて深刻、最重要課題として認識。

問 安心して子供を生み、育てられる環境を整えるべき。

答 国、県の諸策を踏まえ、あらゆる条件を模索する。

問 教育委員会の視点は。

答 昭和60年代と比較して、平

成26年には、児童数が2分の1以下になっている。今後の減少を勘案すると、活力ある学校運営に不安がある。至急、将来構想検討委員会で協議する。

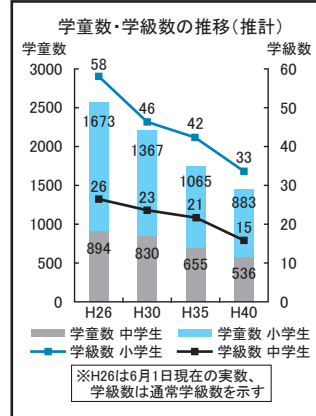
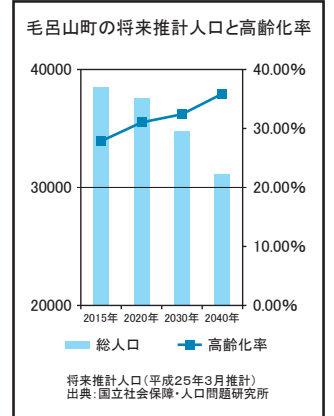
野久保線完成と周辺活性化

問 駅周辺整備は、大旨終了する。昭和61年以降、投資額は71億円になる。町の浮沈を左右する。どのような活性化策が展開されるのか。

答 沿線を商業地域に用途変更諸々の活性化策を検討する。

問 現在の認識では希望なし。

答 今後さらに、個々の手法を研究し人事を尽くす。



町の人口・生徒児童数の減少グラフ

認知症に対しての対策は！

認知症サポーターの養成を引き続き進める

千葉 三津子 議員

問 通学路の安全対策
24年9月議会会で26箇所を通学路危険箇所があるとの答弁を頂いた。その後1年9ヶ月経過したが改善された箇所はあるか。

答 平成24年度に8箇所、25年度に2箇所改善している。今年度の4月に実施した安全

点検の内容と今後も点検を継続的に行う予定はあるか何う。

答 交通量が多い場所や道路状況が良くない所について、交通指導員さんや保護者の方から状況を伺い関係課と連携して交通安全の取り組みを進めている。今後も継続的に安全点検を実施

要旨 町道第4号路線(大類地区の堤)において、危険な朝の通学時間帯の通行止めを願う。

高齢者の支援対策について
問 第5期毛呂山町高齢者総合計画は26年度末で終了するが、これまでの結果と今後の策定についての見直しはどの様にされるのか何う。

答 26年4月現在高齢化率が3ポイント上昇しており、要介護認定者も68人増加になっている。今後も増加していくものと思う。現時点では、計画の範囲で推移している状況で、計画見直しは

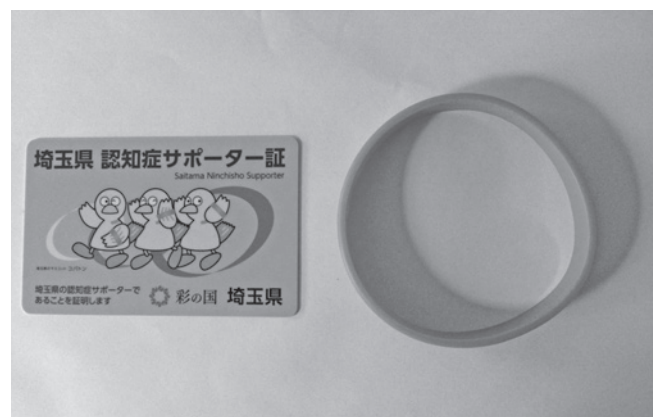
高年齢者総合計画推進会議の中で議論を頂き、地域の実情に即した計画を策定する。

問 認知症に対してのケア及び対策について何う。

答 認知症ケアパス作成検討委員会を組織しケアパス作成を行い、認知症サポーター養成講座を開催し、26年3月末現在で830人のサポーターが誕生している。

問 認知症サポーターには資格証が発行されるのか。

答 オレンジリングと埼玉県が発行している認知症サポーター証が交付される。



認知症サポーター育成講座を受講し、正しい認識と理解を



高齢者の健康づくりはスポーツから

高齢者スポーツの振興について

団体利用により減免できる施設を視野に入れていきます

村田 忠次郎 議員

高齢者スポーツの振興を

問 西戸Bグラウンド以外の施設での使用料減免等をどの様に考えるか。

答 平日のグラウンド使用料の減免について、現段階では70歳以上の方が過半数以上をしめる団体

で、西戸、川角、岩井、目白台グラウンドを視野に入れていきます。

問 団体扱いの手続きはどうか。

答 団体登録すれば、その後の利用は簡単な申請書で済みます。

問 もろバスは、高齢者スポーツを積極的に支えるコース設定

となっていないと思う。停留所見直しについての考えは。

答 スポーツ施設を利用する高齢者は増加していくと考えます。10月からは3台となります。

問 コースは、病院、役場、駅、店、スポーツ施設等を重点に、平山地区など不便な地区では、コースの変更を配慮願いたい。

答 10月以降の利用状況等を確認した上で検討していきます。

毛呂山町の農業振興について

問 農業人の高齢化、遊休農地の増加、2月の大雪による影響等が懸念される。担当課として、農業振興をどう進めていくか。

答 国が推奨する「人・農地プラン」の実施、倒壊農業施設助成制度の利用、農業の担い手を確保する取り組み、中山間地域等直接支払い事業等を実施している。今後も関係機関と連携し、農家の方に親身になってサポート体制を整えたい。安全な農産物への取組を支援。毛呂山でとれたものを毛呂山で加工し販売に結びつけていくことが効果的、効率的な農業形態のひとつと考え、農業振興を図っていきたい。

意見 他町に先駆けモデル的な町をつくる「攻めの行政姿勢」を期待します。

一部地権者の要望で最重要施策を変えるのか！

土地所有者の考え方は大変重要！

長瀬 衛 議員

問 都市計画指定地への大型店舗の誘致は中心部の空洞化や地元商店街への影響が大きいとして町商工会が陳情書を提出した。趣旨に同感である。

答 雇用において工業・流通施設と商業施設の違いは？

答 立地規模や従業員などで変わる。町県民税はフルタイムの方がパートより所得が伸びるのでメリットとなる。雇用において一般論では、正規、パートの考え方はある。企業形態などの

運用によってある程度の開きはある。

問 大型店舗誘致の話は「地権者の要望は重い」という町長の発言から始まった。都市計画用途指定を行い、県下一の優遇条

例まで用意する町最重要施策を一部地権者の要望で変えようとしている。そんな馬鹿な話はない。

答 地権者が生活設計の中でこの考え方を持っているのは確か。土地所有者の考え方は大変重要。

問 南部地区への企業誘致が進まなかったのでしょうかというが、24年2月、バイパスが

開通し、5月に地権者から要望書が出され、8月に政策会議を開いている。誘致への努力も時間もなく、何もやっていない。首長が飛び回り、全庁体制で取り組み誘致は成功する。地権者の問題ではない。

答 担当者を置いて誘致に当たってきた。県立地課とも情報を共有し、2箇所の紹介をいただいた。

意見 スーパーを政策的に誘致するなど有り得ない。買い物難民対策こそ課題である。

毛呂山町議会 陳情書

平成26年4月2日

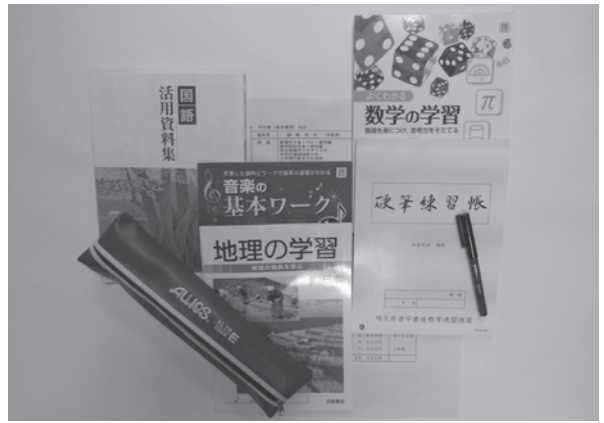
毛呂山町議会
議長 下田 一甫 殿

陳情者 住所 入間郡毛呂山町岩井西4-6-16
氏名 毛呂山町商工会
会長 丸木 清
副会長 岡部 和雄
副会長 渡辺 繁太郎

都市計画法第34条第12号に基づく南部地区指定区域（毛呂山町大字葛野の一部）の企業誘致に関する陳情書

陳情事項
当該地区への企業誘致について、現行指定の工業施設並びに流通業務施設の誘致に最大限の努力をお願いしたい。

商工業関係者の切実な陳情



小・中学校の学年費、保護者への軽減は必要！

小・中学校の学年費は 保護者への軽減は

調査・研究して参ります

小峰 明雄 議員

問 小・中学校の普通教室にエアコンの設置は、関係者の願いが叶うように、一般質問を何度も致しました。両中学校の空調設備設置工事・川角中学校大規模改造工事の入札が行われ、限られた期

問 小・中学校の普通教室での工事ですが、職員体制は、職員一丸となって職務に専念し、所期の目的を達成したい。
問 渋川市教育委員会は、児童生徒の救命救急を円滑に行うため、子ども安心カードを平成25年6月に導入した。ご所見は。
答 危機管理体制をさらに充実

問 小・中学校の学年費は、教材費等を含め中学校では年間数万円になる。保護者の経済的負担の軽減等は、私は必要と思う。
答 調査、研究して参ります。
問 学校からの緊急連絡に、一方通行の携帯メール連絡網、保護者の経済的負担の軽減等は。
答 検討して参りたいと考える。
問 非婚のひとり親家庭には、寡婦控除の適用がないことが、他のひとり親家庭に比べて経済事情はより深刻。新支援制度は。
答 新制度の施行に合わせて、実施する準備を進めております。
問 成人のつどいが、中学校区

毎に開催、今後の開催方法は。
答 両公民館を会場と考える。
問 高齢者等が、住み慣れた地域で暮らしていくための、生活支援事業等の現況と課題は。
答 緊急通報システム事業が88人・家族介護用品等給付事業が97人利用。具体的なサービスの内容が分からないといった意見があり、今後も周知に努めます。
問 平成21年第2回の定例議会での一般質問後に、LED防犯灯を計画的に改修しておりますが、今後の計画は。
答 町内に約3600基LED化は444基。

「不審者情報」 防災無線で放送を！

しっかりと教育部局と進めていきたい

弓田 茂樹 議員

問 本町の防災行政無線の現状と課題は。

答 防災行政無線は、運用開始から25年以上経過しております。部品の一部につきましては生産中止となっている物もあります。が、保守点検業者がストックしている部品を使い、修理・変更

等を行っている現状です。
問 デジタル化への現状と課題。

答 今年度にデジタル化の実施計画を行います。課題につきましては、数億円にもなる工事費用の調達方法がありますが、国の事業債等を活用して、町負担が少ない方法を検討します。

不審者情報を防災無線を通して
問 「不審者情報」の提供を防災行政無線を通じ、町民の皆様へ周知することの現状と課題は。
答 不確定な情報の放送による混乱を引き起こすおそれがあることなどから、放送を行っていません。しかし、生命に関わる緊急事態で関係機関等との協議のもと、効果が期待できると判断した場合には慎重に対応します。

問 成年被後見人の選挙権回復に伴い、その周知・啓発はどのようになされているのか。
答 町広報紙や該当者にも個別

に周知したところでは。
問 改正後、参議院議員選挙が執り行われたが、混乱等なかったのか。
答 混乱はございませんでした。
問 回復と共に、高齢者や障害者を含む有権者の投票機会の確保に伴い、投票環境向上の推進を図るようになっておりますが、本町の取り組みは。

答 スロープや車椅子の設置を行っております。今後有権者の誰もが、投票しやすい環境を考えて参ります。



双方向通信可能なデジタル化へ(現行のパンザマスト)



デジタル化に予定される防災無線システム

防災無線の施策は

今年度デジタル化の設計委託を
実施する予定

藤岡 健司 議員

問 現在防災無線はアナログからデジタルに変わりは、防災無線については、どのような機能があり、これからの施策について伺います。

答 現在の防災行政無線はアナログ系ですので、

デジタル化を行うことによりエリアメールの送信、ホームページへの避難情報等の自動入力が出るようになり、今年度デジタル化の設計委託を実施する予定。

自然災害について

問 各地で想定外の想定をしな

ければならない災害が起き、対処できない状態が各地で起きています。そこで、町の自然災害に対する考えを伺います。

答 災害が発生する恐れのある場合や大規模災害の発生には「災害における職員の動員体制」に基づき、待機体制をとり災害の規模により初動体制、警戒体制、緊急体制、そして災害対策本部を設置する非常体制へと移行する。自然災害に対して職員一丸となって住民の生命・財産を守るため責務を果していきたい。

旧上町保育園の跡地について

問 旧上町保育園跡地利用について、防災公園として整備してほしいと毛呂本郷の区長から陳情書がでています。町の考えは

答 当面、多目的な広場として地域住民にご利用いただくことは有意義であると思います。なお、旧上町保育園跡地は、市街化区域にあるまとまった土地であり、相当の価値を有していること認識しております。町の貴重な財産ですので、財政上の問題で、財源を確保しなければならぬと判断した場合は、処分を検討することもあり得ると考えています。

岩井学童保育所の改善・対策を急げ!

最優先に、対応していく

岡野 勉 議員

問 町内3学童保育所の定員と在席数はどうなっているか。また、理想とする定員数はどの位なのか。

答 理想とする定員は40名です。本町の現状は、岩井および川角学童保育所が定員60名で在籍は岩井81名、川角110名。泉野

学童保育所定員が70名で在籍は94名となっています。なお実際の平均利用者は在席数より下がります。

問 3園とも辛うじて施設基準は満たしているが、理想からは程遠く多くの課題を抱えている。特に、岩井学童は園庭に草木が

一本もなく、殺伐としている。また、何度となく岩井学童保育所の園舎の改築・増設や毛呂山小学校への余裕教室の利用など、要望が出されているが、具体的には教育委員会も含めて対策はどこまで進んでいるのか。計画書なり、設計図を示してほしい。

答 学童保育所の面積は岩井学童386㎡、川角1738㎡、泉野510㎡で、岩井学童では庭の活用が殆んどできないという状況です。岩井学童の改善を最優先に位置付け、討議を積み重ねています。一昨年は川越市を視察しました。

岩井学童の対応が遅い!

いつまでかかっているのか

問 正直言って対応が遅い。いつまでかかっているのか。もう何代の課長を経てきたか。教育委員会は既に「余裕教室」を渡せる段階にあるのか。

また、川角学童は定員の約2倍の在籍数、川角小学校の学童は約1km離れた学童に通園しており危険だ。この対策も同時にすべきだ。
答 教育委員会では「将来構想検討委員会」の意向もうけて対応していきたい。



園庭が無く、殺伐とした岩井学童保育所



高齢者を24時間体制で見守りを

緊急通報システムの業務委託を

メリット・デメリットを精査し
前向きに導入を進めたい

荒木 かおる 議員

高齢者の見守り

問 埼玉県は高齢者の伸び率が全国一とのことですが本町の高齢化の進展状況と独居老人の増加予測、民生委員の業務の実情を伺います。

答 国立社会保障・人口

問題研究所が推測した資料によると本町の高齢化率は2020年で31%、2030年で32・4%となることから今後も上昇していくと考えている。また同所が発表した日本世帯数の将来推計によれば県内では2010年の75歳以上の単独世帯は9万5

千世帯が2035年には135%増の22万3千世帯になると推計。本町でも増加していくものと考えられる。民生委員については急速に進行する少子・高齢化、単独高齢者世帯の増加などにより、世帯構成の変化、人間関係の希薄化が進み、民生委員への負担も大きくなっている。

問 緊急通報システムの設置世帯数、年間予算、利用状況を伺います。

答 設置台数は26年3月現在で88世帯となっており25年度中の利用世帯数は118世帯。平成26年度当初予算は219万円。

利用状況通報件数が153件です。

問 緊急通報システムを警備会社に委託すれば民生委員の皆さんの負担軽減になり24時間体制で見守りを行える。本町のご見解を伺います。

答 鳩山町では既に導入しており同じ消防管内としては進めたい。費用対効果に関しては従来より単価が安い。安心度、デメリットなど精査しながらデメリットが少ないようなら前向きに導入を進めたい。

商店街、街路灯に 対する考えは！

一番良い状況で解決できる様
考えて行きます

佐藤 秀樹 議員

商店街の活性化に向けて

問 これから更に進む少子高齢化の時代や町の財政運営に、商店街の活性化は重要視すべきであり、国や県でも対策を考えているが、町として商店街の活性化に対し、どのように考えているか。

答 地域の賑わいの創出や、町の治安や防犯への寄与、更には高齢者への社会福祉的役割に必要不可欠であります。

問 商工会会長名で「街路灯の維持管理に関する陳情書」に対し政策会議で今の段階では要望に応えられない。との事でした

が、答弁に相違が生ずるが、再度町の考えをきかせて頂きたい。

答 今までの取決めの中で、直ぐに判断はつけられなかった。今後は、商工会及び商店の方々と話しをして行きながら、全部とは言えないが一番良い状況で解決出来る様に考えて行きたい。

友情都市に対する取組

問 これから先、行政運営が非常に厳しくなっている中、近距離の自治体と友情都市を結び、経済再生ラインと考え協力し合う事。また外国の都市と友情都市を結びゆずの販路拡大を見出したり、子供達の異文化交流を

野久保線開通後の周辺対策

問 野久保線周辺地域活性化に対し、政策会議が行われていないとの事だが、先を見通す為に必要と思うが、関係機関などと協議、検討していかねばならないと認識しております。



商店街活性化に向けた取組を

全員協議会

【5月7日の議題】

1. 広域静苑組合議会議員定数について
 - ① 広域静苑組合越生斎場への坂戸市の加入により坂戸議員定数を検討する

【6月2日の議題】

1. 都市計画法第31条第11号の予定建築物の用途の見直しについて
 - ① 建築できる建物用途の変更
2. 毛呂山町立中学校への空調設備設置事業について
 - ① 毛呂山中学校への設置

- ア 普通教室19箇所
- イ 既設設備更新2箇所
- ② 川角中学校への設置
- ア 普通教室15箇所
- イ 特別支援学級1箇所
- ③ 供用開始12月予定

3. 町内循環バス運行事業者選定審査の結果について
 - ① 運行事業者
 - 里地域北コース
（有）毛呂山タクシー
 - 里地域南コース
○ 山地域コース
（有）越生タクシー
 - ② 審査基準：利便性向上や安全運転、管理など
 - ③ 新運行開始10月1日から

議会の動き

- 5月 1日 第84号議会だより発行
7日 議会運営委員会
第1回（5月）臨時会
全員協議会
9日 入間郡町村議会議長会定期総会（三芳町）
14日 2 常任委員会合同視察研修（宮崎県木城町、鹿児島県指宿市）
16日
20日 西入間広域消防組合臨時会
26日 議会運営委員会
28日 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合議会臨時会
- 6月 2日 全員協議会
2日
（第2回（6月）定例会）
6日
17日 議会運営委員会
26日 坂戸地区衛生組合臨時会
- 7月 2日 西入間広域消防組合臨時会

次回定例会は9月です。



街角インタビュー

【花蓮（はなはす）がオープン】総合公園プールの再利用で蓮池が育てられています。今回は花蓮を「我が子のように育てている」福田さんご夫婦をインタビューしました。



【花蓮を育てる福田さんご夫婦】

● **取り組みのきっかけは？**
◎ 前小沢町長に勧められ一度は躊躇しましたが、今では我が子のようにです。

● **喜びはどんな時ですか？**
◎ きれいな花が咲いた時、苦勞が報われ、うれしいですね。

● 町や議会への要望は？

◎ いまテレビ埼玉や新聞で報道され、お客さんは1日100名〜300名。今後とも維持発展させるには、是非とも町からの実質的な支援が必要です。

● 花の見ごろは？

期間：7月〜8月下旬
時間：午前6時〜正午

傍聴席

5月臨時会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
5月 7日(水)	1

6月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
6月 2日(月)	0
6月 3日(火)	22
6月 4日(水)	27
6月 5日(木)	20
6月 6日(金)	0

あとがき



今年の梅雨は異常気象に伴い各地にて集中豪雨に見舞われ、甚大な被害が発生いたしました。ここ数年、「想定外」の異常気象が発生しており、毛呂山町もいつ大災害に見舞われるかわかりません。昨今、自主防災が注視されている中、今一度各自自治体の自主防災に対する取り組みの見直し、更には構築が今後のカギになることは間違いのない事でしょう。私たち議員も安心安全を念頭に町民皆様の「住みよいまちづくり」に対し、今後も尽力してまいります。最後は暑い日が続き、水補給をしっかりと行い、ご自愛頂きますことをご祈念申し上げます。

（佐藤 秀樹）

編集委員

- 委員長 藤岡 健司
副委員長 岡野 勉
委員 弓田 茂樹
佐藤 秀樹
荒木かおる
千葉三津子

アドバイザー

（議長） 下田 一甫